

2019年度事業報告書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ

1 事業の成果

<全体>

- ・NP0法人設立10周年イベントを、6月15日(土)に2部制にて実施。半年前から準備に取り掛かり、当日はお世話になった方々にお越しいただき、感謝を述べる事ができた。併せて、ロゴを刷新。
- ・年度途中に、組織の方向性(ビジョン、ミッション)の確認と、やるべきことを理事や正会員に再確認し、ミッションを「はたらく環境を、よりよく変えていくワークライフバランス事業」「人を育て、マチを育てる次世代育成事業」「人がつながるコミュニティ形成事業」に修正。

<各事業について>

- ・まちのがっこうをプラットフォームとした、愛媛県と松山市からの補助事業「休日子どもカレッジ」「休日子どもクラブ(八幡浜市・オレンジベイクス様受託)」がスタート。初めての取り組みに想像以上に、たくさんの方の手と時間を費やした。まちのがっこうの仕組が十分に整っていないこと・事務作業の効率化を図れていないことが大きな課題として残った。これを機に、まちのがっこうのガイドラインや利用する様式等を整理し、パッケージ化や業務のIT化を進めている。
- ・まつやま働き方改革推進会議内「まつやまワークワク部」の事務局業務を通じて、様々な企業関係者や個人の方と出会う機会となり、また、官民連携(松山市・サイボウズ・商工会議所・ワーコラ)で業務を共有することにより、手弁当の部分が多いが、仕事の進め方や立場の違いからの役割分担など学びは多くある。来年度で一旦期間が終了するが、その後どのように継続するのか、という課題が残る。
- ・働き方改革や就活関連イベントや講演の依頼が増えたが、単発が多く、次回に繋ぐことに課題が残る。
- ・しののめCOC+事業は最終年度、子育て家庭訪問インターンシップの実施と事業評価を行い終了した。(大学のプログラムとしては継続しない)
- ・仕事と子育ての両立をテーマにしたWIP(ワークライフ・インテグレーション・プログラム)は三浦保愛基金を活用し、企業研修につなげる広報をおこなったがまだそれぞれの組織で優先順位が高くないことから、アプローチに工夫が必要。2月に行った、一般向けのWIP(両立の工夫のための講座)では、参加者の満足度も高かったが、協賛企業(自社のサービスや商品を宣伝)からの満足度や評価が高く、需要が高いと感じた。
- ・継続的な自主事業が育っていない。来年度は外部の力を借りて、戦略的に育てていく。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載 した事業)	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
目的を同じく する他の団体 との連携事業	しのためCOC+事業 〈女子学生の愛媛県内定着支援〉	4月～ 3月	愛媛県内	2名	一般市民、学生、 企業6社	1,521
目的を同じく する他の団体 との連携事業	松山市中小企業振興円卓会議専 門部会事業 (まつやまワークワク部) 〈松山市の働き方改革推進〉	4月～ 3月	松山市内	2名	一般市民(県 民)、企業	1,525
目的を同じく する他の団体 との連携事業	松山市休日子どもカレッジ推進 事業 〈長期休暇中の小学生の居場所 づくりと地域で子育て支援〉	4月～ 3月	松山市内	7名	主として松山市内 の小学生のべ1312 名と保護者	5,691
目的を同じく する他の団体 との連携事業	愛媛県「三浦保」愛基金事業 〈企業向け人材定着プログラム (WIP)の提供〉	9月～ 2月	松山市内	1名	松山市内1団体、1 企業、松山市民21 名	407
目的を同じく する他の団体 との連携事業	子どもゆめ基金助成金事業 (週末はまちなかでみんなと学 ぶ) 〈学生と作る子ども向け講座〉	7月～ 12月	松山市	1名	松山市民 のべ246名	359
目的を同じく する他の団体 との連携事業	女性×シニア 共生プロジェクト 〈働きたい女性等と地域のシニ アが交流できる場所の提供〉	4月～ 5月	松山市内	2名	松山市民	27
ワークライフ バランスに関 する啓蒙活動 関連事業	自主事業 ・まちのがっこう ・休日子どもクラブ支援 ・働き方改革講座企画 ・ワーコラ交流会・カフェ ・SDGs勉強会 ・リビングまつやま記事執筆 ・#起業女子 ・企業支援、講演、相談、事務代行等	4月～ 3月	愛媛県内	7名	愛媛県民	9,054

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載 した事業)	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	支出額 (千円)
	実施なし				